

低炭素化へ 太陽光発電導入

創立40周年
を契機に

ツルヤマテクノスのエコ貢献

本社工場屋上に設置された太陽光発電装置



臨海企業のマンナンテナンスに高い技術力をアレンジできる企業として、成長をつづけるツルヤマテクノス株式会社（鶴山孝）は昨年、創立40周年を迎えた。

太陽発電の設置工事を進めてきたが、12月13日に自社キューピカルに接続して稼働。低炭素化へのターンを切った。

工場南側の屋根、約3

00m²に発電容量35・2

kW以上の太陽発電モジュ

ール（シャープ製）を設

けたことで、従来同社で

使用していた月

間121kWの電

力のうち約20%

を同装置で補う

ことができる。

東京電力市原営業所管内では初

めて、工場稼

働日以外に発電された余剰電力は同社へ売電す

る契約を交わしている。

鶴山孝行社長は、「弊

社の今があるのは地域の

皆さまのおかげです。感

謝の思いをエコ貢献で代

えたいと、いち早く取り

入れました。これを契機

に周辺企業の環境意識が

ともに高まるこ

とに願っています」と21世紀型の

中小企業として変革する姿勢を示した。同社の太

陽光発電導入については、

21年度エネルギー等事業

者支援対策補助金が決定

している。